
7008. 貨物情報仕分け

業務コード	業務名
CHJ	貨物情報仕分け

1. 業務概要

システム参加保税地域等^{*1}に蔵置されているコンテナ詰輸入貨物について、B/L番号単位と異なる単位で輸入申告等を行うため、貨物情報を複数の情報へ仕分けする業務である。

「通常情報仕分け」、「先行到着分情報仕分け」、「分散蔵置情報仕分け」の3種類の情報仕分けが可能である。

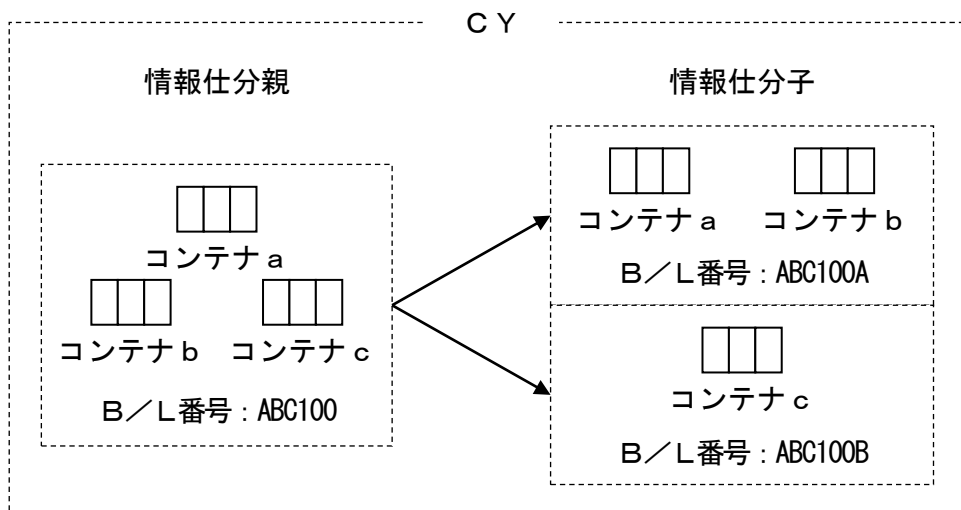
本業務にて情報仕分けを行った場合は、以降の業務は仕分けた単位で行うこととなる。

また、情報仕分けをした旨を取り消す場合も本業務で行う。なお、取消しが可能な期間は、情報仕分けを行った翌々日（日曜・祝日除く）までとする。（貨物取扱DBの保存期間）

(1) 「通常情報仕分け」

システム参加保税地域等に全量蔵置されている貨物に対して、情報仕分けを行う。

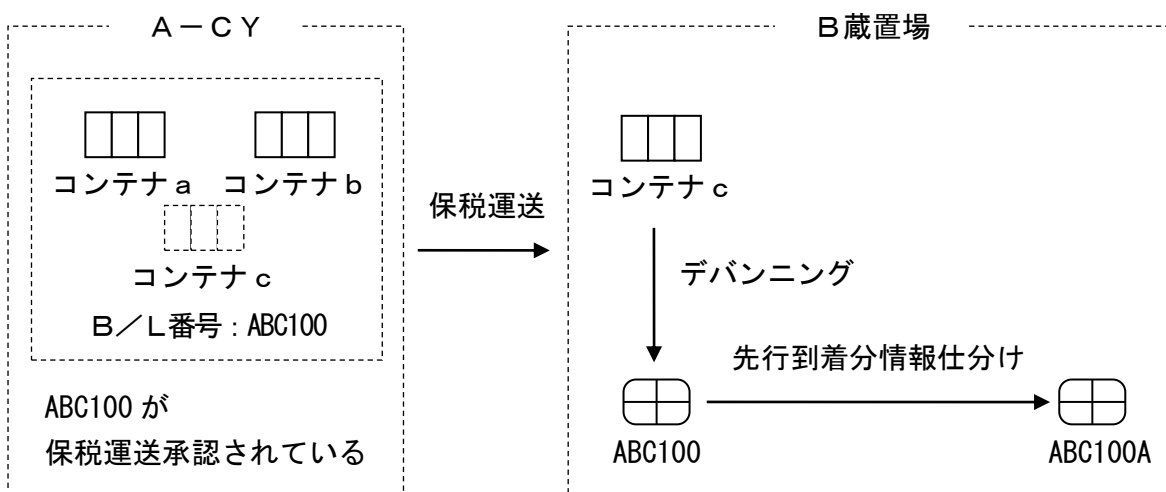
例 コンテナ詰貨物を2つに情報仕分けする例



(2) 「先行到着分情報仕分け」

保税運送中の貨物で、先行到着分の貨物に対して行う情報仕分けである。

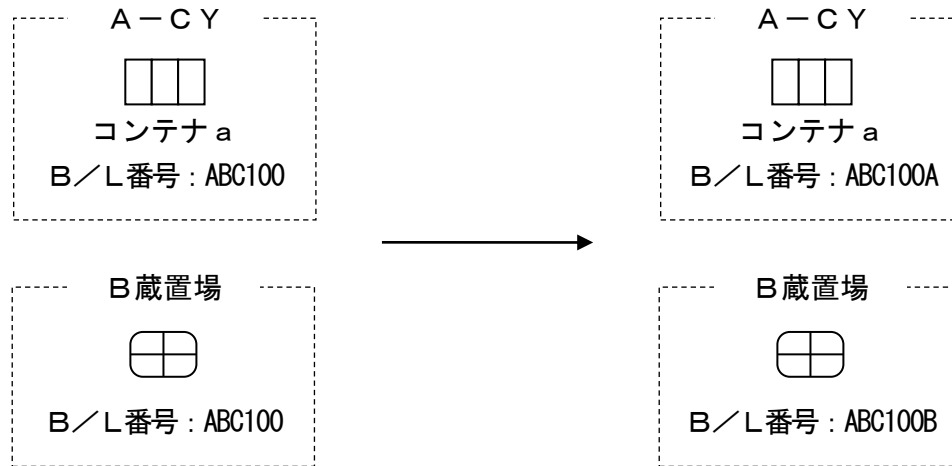
例 1 B/L 3コンテナをA-CYからB蔵置場へ保税運送し、B蔵置場でコンテナ c 分の情報仕分けを行う例



(3) 「分散蔵置情報仕分け」

1 B／L n コンテナのうち、CYから同一保税地域内運送されたコンテナ貨物を搬入し、分散蔵置後に情報仕分けする。

例 1 B／L 複数コンテナで、あるコンテナを同一保税地域内のB蔵置場へ運送しデバンニング後、情報仕分けを行う例



(＊ 1) システム参加保税地域等とは、システム参加保税地域と「他所蔵置許可申請 (TYC)」業務または「許可・承認等情報登録 (保税) (PSH)」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

2. 入力者

通関業、機用品業、保税蔵置場、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

- ① 1 業務で通常情報仕分け可能な件数は最大 20 件とする。
- ② B／L 番号に対する取扱枝番がシステム制限値を超えて払い出されないこと。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 取消しの場合は、本業務にて情報仕分けを行った利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物取扱DBチェック

取消しの場合は、以下のチェックを行う。

- ① 入力された貨物取扱番号に対する貨物取扱DBが存在すること。
- ② 情報仕分けの旨が登録されていること。

(4) 貨物情報DBチェック

(A) 「登録」の場合は、以下のチェックを行う。

○：チェック対象項目

項番	情報仕区分 チェック項目	通常情報 仕分け	先行到着分 情報仕分け	分散蔵置 情報仕分け
1	入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在していること。	○	○	○
2	輸入貨物であること。	○	○	○
3	入力されたB/L番号に該当する貨物は、システム参加CYに蔵置されているコンテナ詰貨物であること。 なお、入力されたB/L番号に該当する貨物は同一蔵置場所に全量蔵置されていること。	○		
4	仕分前のB/L番号に関連付けされているコンテナ番号が、仕分後のコンテナ番号に入力されていること。	○		
5	入力された仕分後の蔵置場所に先行到着しているコンテナが存在すること。		○	
6	入力された仕分後の蔵置場所に全量蔵置されていないこと。		○	
7	コンテナ番号が入力された場合は、入力された仕分後の蔵置場所に当該コンテナが蔵置されていること。		○	○
8	入力されたB/L番号に該当する貨物は、複数のシステム参加保税地域に蔵置されていること。			○
9	運送中の貨物が存在しないこと。			○
10	保税運送承認または包括保税運送承認に係る個別運送情報登録がされていないこと。	○		○
11	保税運送承認または包括保税運送承認に係る個別運送情報登録がされていること。		○	
12	輸入申告等 ^{*2} 済で審査終了がされていないこと。(先行到着分情報仕分けの場合は、輸入申告等がされていないこと。)	○	○	○
13	以下の承認及び許可等がされていないこと。 ・輸入許可済等 ・本船・ふ中扱い承認済 ・外国貨物船（機）用品積込承認 ・別送品輸入許可 ・亡失届受理 ・減却承認 ・現場収容 ・税関内収容 ・その他の搬出承認	○	○	○
14	貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。	○	○	○
15	訂正保留中でないこと。	○	○	○
16	「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務または本業務により仕分親となっていないこと。	○	○	○
17	「積戻貨物情報登録（RCR）」業務が行われていないこと。	○	○	○
18	混載仕分けされた親でないこと。	○	○	○

○：チェック対象項目

項番	情報仕区分 チェック項目	通常情報 仕分け	先行到着分 情報仕分け	分散蔵置 情報仕分け
19	事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。	○	○	○
20	貨物差止め登録がされていないこと。	○	○	○
21	貨物手作業移行されていないこと。	○	○	○

(＊2) 輸入申告等とは、輸入申告、輸入（引取）申告、蔵入承認申請、移入承認申請、総保入承認申請、展示等申告及び蔵出輸入（引取）申告のことをいう。

(B) 取消しの場合は、以下のチェックを行う。

入力された貨物取扱番号に係るB／L番号の貨物情報DBに対して、以下のチェックを行う。

○：チェック対象項目

項番	情報仕区分 チェック項目	通常情報 仕分け	先行到着分 仕分け		分散蔵置 情報仕分け
			仕分子	仕分親	
1	貨物情報DBが存在すること。	○	○	○	○
2	輸入貨物であること。	○	○	○	○
3	情報仕分け時の蔵置場所に蔵置中であること。	○		○	○
4	情報仕分け時の保税運送状態にあるか、または到着地に全量蔵置されていること。		○		
5	保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報登録がされていないこと。	○		○	○
6	情報仕分け後、以下の税関手続がされていないこと。 ・ 輸入申告等 ・ 貨物取扱許可申請 ・ 見本持出許可申請 ・ 外国貨物船（機）用品積込承認 ・ 別送品輸入許可 ・ 他所蔵置許可申請 ・ 亡失届受理 ・ 滅却承認 ・ 現場収容 ・ 税関内収容 ・ 貨物取扱登録（内容点検） ・ その他の搬出承認	○	○	○	○
7	訂正保留中でないこと。	○	○	○	○
8	SHS業務または本業務により仕分親となっていないこと。	○	○	○	○
9	RCR業務が行われていないこと。	○	○	○	○
10	混載仕分された親でないこと。	○	○	○	○
11	事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。	○	○	○	○
12	貨物差止め登録がされていないこと。	○	○	○	○
13	貨物手作業移行されていないこと。	○	○	○	○

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 登録の場合

(A) 貨物取扱番号の払出し処理

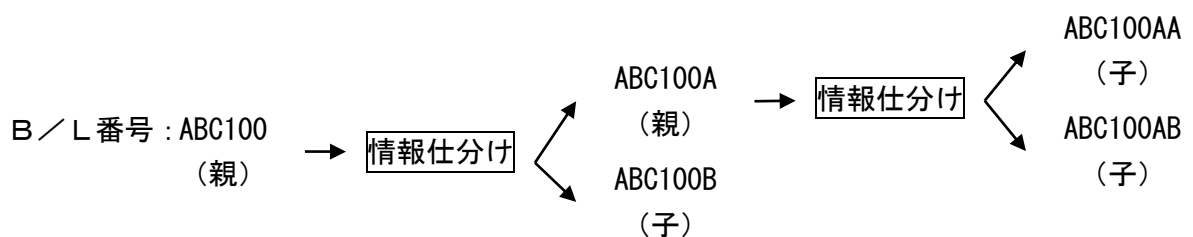
貨物取扱番号をシステムで払い出す。

(B) B/L番号の取扱枝番の払出し処理

B/L番号の取扱枝番^{*3}をシステムで払い出す。

なお、B/L番号の取扱枝番の払出しは以下のように行う。

(a) 「通常情報仕分け」の場合



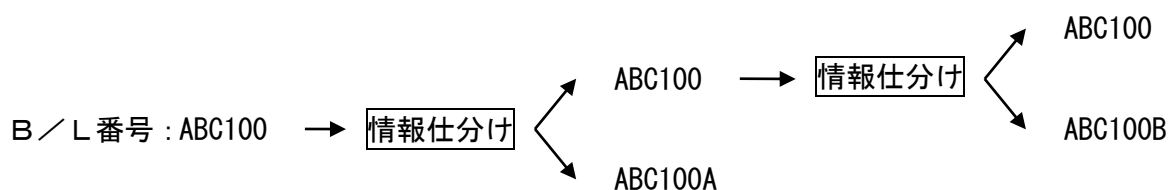
※ABC100A、ABC100B について、ABC100 からの通常情報仕分け時は「情報仕分子」となり、通常情報仕分け後、ABC100A を更に通常情報仕分けした場合、ABC100A は「情報仕分子」から「情報仕分親」となる。

(上記イメージは情報仕分親時の状態を指す)

「通常情報仕分け」による関連図の説明

- ① 「B/L 番号 : ABC100」を仕分数を2として「通常情報仕分け」すると取扱枝番「A」及び「B」が払い出される。この場合は、「B/L 番号 : ABC100」が情報仕分親であり、「B/L 番号 : ABC100A」及び「B/L 番号 : ABC100B」が情報仕分子である。
- ② 「B/L 番号 : ABC100A」を仕分数を2として「通常情報仕分け」すると、直前の情報仕分親番号に対して取扱枝番「AA」及び「AB」が払い出される。この場合は、「B/L 番号 : ABC100A」が情報仕分親であり、「B/L 番号 : ABC100AA」及び「B/L 番号 : ABC100AB」が情報仕分子である。
- ③ 「ABC100B」、「ABC100AA」及び「ABC100AB」が以降の業務の処理対象となるB/L番号である。

(b) 「先行到着分情報仕分け」の場合

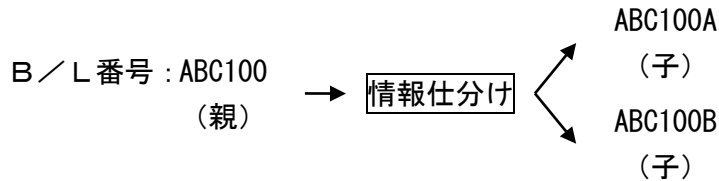


「先行到着分情報仕分け」による関連図の説明

- ① 「B/L 番号 : ABC100」を「先行到着分情報仕分け」すると取扱枝番「A」が払い出される。この場合は、「B/L 番号 : ABC100」が情報仕分前であり、「B/L 番号 : ABC100A」が情報仕分後である。

- ②「B/L番号：ABC100」を「先行到着分情報仕分け」すると取扱枝番「B」が払い出される。この場合は、「B/L番号：ABC100」が情報仕分前であり、「B/L番号：「ABC100B」が情報仕分後である。
- ③「ABC100」、「ABC100A」「ABC100B」が以降の業務の処理対象となるB/L番号である。

(c)「分散蔵置情報仕分け」の場合



「分散蔵置情報仕分け」による関連図の説明

- ①「B/L番号：ABC100」を「分散蔵置情報仕分け」すると取扱枝番「A」及び「B」が払い出される。この場合は、「B/L番号：ABC100」が情報仕分親であり、「B/L番号：ABC100A」及び「B/L番号：ABC100B」が情報仕分子である。
- ②「ABC100A」及び「ABC100B」が以降の業務の処理対象となるB/L番号である。
- (＊3) 取扱枝番はA～V、A～VV (I、Oの英字を除く) とする。

(d)「予備申告後の情報仕分け」の場合



「予備申告後の情報仕分け」による関連図の説明

- ①仕分けにより「貨物管理番号：ABC100A」が払い出されることを前提として、「貨物管理番号：ABC100A」に対して予備申告を行う。
- ②本業務により、仕分け親の「貨物管理番号：ABC100」に対して仕分け子として「貨物管理番号：ABC100A」を払い出した際、予備申告により作成された貨物情報が存在する場合は、当該貨物情報に対して仕分け子の旨を登録する。
- ③仕分け子の「貨物管理番号：ABC100A」に対して予備申告の旨が登録されている場合は、本申告を自動起動する。

(C) 貨物取扱DB処理

システムで払い出した貨物取扱番号に対する貨物取扱DBを作成し、入力された貨物情報仕分け情報を登録する。

(D) 貨物情報DB処理

(a)「通常情報仕分け」の場合

(ア) 情報仕分親のB/L番号に対する処理

- ①「通常情報仕分け」が行われた旨を登録する。
- ②削除表示を設定する。
- ③仕分親の旨を登録する。

(イ) 情報仕分子のB/L番号に対する処理

- ①情報仕分子のB/L番号に対する貨物情報DBを作成する。
- ②仕分子の旨を登録する。

(b)「先行到着分情報仕分け」の場合

- (ア) 仕分前のB/L番号に対する処理
 - ①「先行到着分情報仕分け」が行われた旨を登録する。
 - ②入力された個数、重量、容積を総個数、総重量、総容量から減算する。
なお、総個数が1の場合は、減算は行わない。
- (イ) 仕分後のB/L番号に対する処理
 - 仕分後のB/L番号に対する貨物情報DBを作成する。
- (c)「分散蔵置情報仕分け」の場合
 - (ア) 情報仕分親のB/L番号に対する処理
 - ①「分散蔵置情報仕分け」が行われた旨を登録する。
 - ②削除表示を設定する。
 - ③仕分親の旨を登録する。
 - (イ) 情報仕分子のB/L番号に対する処理
 - ①情報仕分子のB/L番号に対する貨物情報DBを作成する。
 - ②仕分子の旨を登録する。
- (E) コンテナ情報DB処理
 - コンテナ詰貨物に対して登録されているB/L番号を情報仕分子のB/L番号に変更する。
- (3) 取消しの場合
 - (A) 貨物取扱DB処理
 - 貨物取扱番号に係る情報仕分け情報を取り消した旨を登録する。
 - (B) 貨物情報DB処理
 - 貨物取扱DBに登録されているB/L番号に係る貨物情報DBに対して以下の処理を行う。
 - (a)「通常情報仕分け」の場合
 - (ア) 情報仕分親のB/L番号に対する処理
 - ①「通常情報仕分け」を取り消した旨を登録する。
 - ②仕分親の旨を取り消す。
 - ③削除表示を解除する。
 - (イ) 情報仕分子のB/L番号に対する処理
 - 貨物情報DBを削除する。
 - (b)「先行到着分情報仕分け」の場合
 - (ア) 仕分前のB/L番号に対する処理
 - ①「先行到着分情報仕分け」を取り消した旨を登録する。
 - ②総個数、総重量、総容積を減算前の値に戻す。
 - (イ) 仕分後のB/L番号に対する処理
 - 貨物情報DBを削除する。
 - (c)「分散蔵置情報仕分け」の場合
 - (ア) 情報仕分親のB/L番号に対する処理
 - ①「分散蔵置情報仕分け」を取り消した旨を登録する。
 - ②仕分親の旨を取り消す。
 - ③削除表示を解除する。
 - (イ) 情報仕分子のB/L番号に対する処理
 - 貨物情報DBを削除する。
- (C) コンテナ情報DB処理
 - コンテナ詰貨物に対して、登録されている情報仕分子のB/L番号を情報仕分親のB/L番号に変更する。

(4) 本申告（輸入申告等^{*4}）起動処理

情報仕分子に予備申告がされた旨が登録されている場合で、本申告（輸入申告等）を当該保税地域で自動起動する旨が登録されている場合は、本申告処理を自動起動する。

また、到着即時輸入申告扱いの予備申告の登録がされている場合または貨物到着前輸入申告扱いの予備申告の登録がされている輸入貨物で、本申告起動前に本業務が入力された場合は、予備申告（搬入確認登録時本申告自動起動）を行う旨に変更して、本申告処理を自動起動する。

（*4）輸入申告等とは、輸入申告、輸入（引取）申告、蔵入承認申請、移入承認申請、総保入承認申請のことをいう。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(6) 注意喚起メッセージ出力処理

入力された仕分前のB/L番号にかかる貨物情報が見本持出許可となっているが、「見本持出確認登録（MHO）」業務が行われていない場合は、注意喚起メッセージを処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
貨物情報仕分け情報	以下の条件を満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 取扱場所が入力者の管理する保税地域でない	入力者 貨物が蔵置されている保税地域
	以下の条件を満たすとき、出力する (1) 登録である (2) 取扱場所が入力者の管理する保税地域である	入力者
貨物情報仕分け取消情報	以下の条件を満たすとき、出力する (1) 取消しである (2) 取扱場所が入力者の管理する保税地域でない	入力者 貨物が蔵置されている保税地域
	以下の条件を満たすとき、出力する (1) 取消しである (2) 取扱場所が入力者の管理する保税地域である	入力者

7. 特記事項

新たにシステムで払い出された取扱枝番を付与したB/L番号に対する貨物情報DBを作成した場合は、以下の処理を行う。

輸入貨物に対して貨物情報DBの以下の項目を移行する。

- ①船舶コード
- ②船会社コード
- ③船卸港コード
- ④船積港コード
- ⑤航海番号
- ⑥最終仕向地コード、最終仕向地名
- ⑦荷渡地コード、荷渡地名
- ⑧荷送人名、荷送人住所、荷送人電話番号
- ⑨荷受人コード、荷受人名、荷受人住所、荷受人電話番号
- ⑩着荷通知先名、着荷通知先住所、着荷通知先電話番号
- ⑪原産地コード
- ⑫混載B/L番号